

DVDカラオケシステム DVD-K100

ご使用になる前に

この取扱説明書(保証書付)を最後までお読み
のうえ正しくお使いください。

本製品は家庭用として作られており、
業務用には使用出来ません。
室内での使用に限ります。

日本国内専用
FOR USE IN JAPAN ONLY



保証書付

保証書に、お買い上げ日、販売店名などが記入
されていることをご確認ください。

このたびは本品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必要なときにすぐに取り出せるように大切に保管してください。

目次

■安全にご使用いただくために	2~5	■仕様	14
■お使いになる前に	6	■故障かなと思ったら	14~15
■設置のしかた	6~7	■保証とアフターサービス	15
■各部の名称	7~9		
■使いかた	10~13		
•カラオケの使いかた	10~11		
•カセットテープデッキの使いかた	12		
•初期設定について	13		

株式会社 太知ホールディングス
TAICHI HOLDINGS LIMITED

<http://www.anabas.co.jp>

〒110-0005 東京都台東区上野3丁目2番4号秋葉原村上ビル3階
お問い合わせ先: 電話 0120-027-329 FAX 048-653-7878

安全にご使用いただく為に

商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みにになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



警告

「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。



注意

「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

- *1: 重傷とは、失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- *2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- *3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止

⊘ は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



指示

● は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



注意

△ は、注意を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告



発煙や変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源プラグが冷えたのを確認しコンセントから抜く

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

確実に差し込む

交流100ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となります。



分解・修理・改造はしない

分解禁止

感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



雷が鳴り出したら電源コードに触れない

禁止

感電の原因となります。

警告



プラグを抜く

落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



つぎのことを守る

電源コードを取り扱うときは、つぎのことを守る

- ・傷つけない
- ・延長するなど加工しない
- ・加熱しない・引っ張らない
- ・重い物を載せない・はさんだりしない
- ・無理に曲げない・ねじらない
- ・束ねたりしない

守らないと、火災・感電の原因となります。



入れない

機器の上に火のついたローソクなどの裸火や花瓶などの水の入ったものを置いたり、異物を入れたりしない

紙などの燃えやすい物や液体、金属類(クリップや針、コインなど)が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ禁止

雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない

火災・感電の原因となります。
降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



プラグを抜く

内部に水や異物等が入ったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。



ほこりをとる

電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。



禁止

次のような場所には置かない

- ・風呂場など、水がかかったり、湿気の多い場所
- ・雨、きりなどが直接入り込むような場所
- ・火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・炎天下の車内
- ・ほこり、油煙の多い(調理場など)場所
- ・振動の強い場所
- ・腐食性ガス(亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど)の発生する場所
- ・極端な高温、低温、温度変化の激しい場所
- ・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所

安全にご使用いただくために (つづき)

⚠ 注意



電源プラグは容易に手が届くコンセントに接続する

電源スイッチを切っても電源から完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜くことができるようにしてください。



機器の上に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様にはご注意ください。



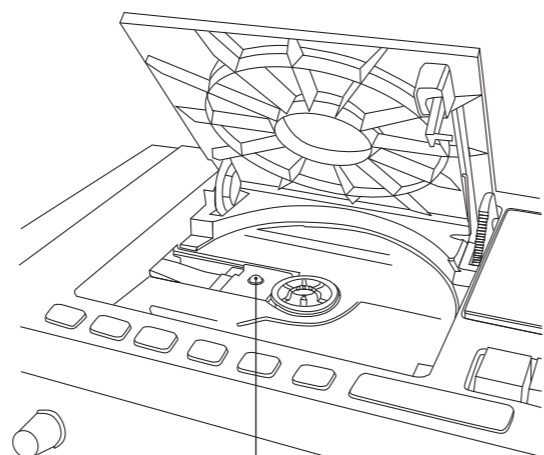
円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状(ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。



ディスクのピックアップレンズをのぞき込んだり、鏡などの光学器具で直接ビームを見ない

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



ピックアップレンズ



ディスク挿入口に手を入れない

けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



ひびわれ、変形、接着剤で補修したディスクを使用しない

高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。



ディスクが回転中は手を触れない

回転中にディスクに触れるとけがの原因になります。



音量に注意

つぎのことを守る

- ・始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷つけることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
- ・電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音がでて聴覚障害などの原因となることがあります。



長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



持ち運ぶときは製品を横にせずハンドルを持つ

プレーヤー部とスピーカー部は固定されていないので製品を横にするとプレーヤー一部が落下し、けがの原因となります。

⚠ 注意



長時間で使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



持ち運ぶときは電源プラグをコンセントから抜く

けがやコードが傷つき、火災・感電の原因となります。



通風孔をふさがない

- ・壁に押しつけない(背面10cm、左右側面5cm以上の間隔をあける)
- ・押入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない
- ・新聞紙・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしない
- ・おお向け・横倒し・逆さまにしない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になります。



電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。



乾電池を取り扱うときは、つぎのことを守る

つぎのことを守る

- ・日光やストーブ、火などの過度の熱にさらさない
- ・指定以外の電池は使用しない
- ・極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
- ・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてない
- ・乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
- ・種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
- ・乾電池を入れたまま長時間放置しない
- ・長時間使用したときは、本体から乾電池を取り出す
- ・水にぬらしたり、ぬれた手を触れない

発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この商品の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

お使いになる前に

■付属品

本機はプレーヤーとスピーカーの2つのユニットで構成されており、付属品はスピーカーユニットに同梱されている箱に入っていますので、お使いになる前に付属品が全て入っているかお確かめください。

- | | |
|--|--|
| ・取扱説明書(本書、保証書付き).....1 | ・単4マンガン乾電池(動作確認用).....2 |
| ・電源コード(約2m).....1 | ・映像接続ケーブル(約3m).....1 |
| ※付属の電源コードは本機専用です。
付属の電源コード以外は使わないでください。
付属の電源コードを他の機器に使わないでください。 | ・マイクホルダー.....2 |
| ・リモートコントローラー.....1 | ・マイクホルダー取り付けネジ.....6
(3x16mm木ネジ(黒)) |

■再生できるディスク (記録状態や傷、汚れなどにより再生できない場合があります)

- | | | |
|---------------------|------------|--------|
| ・DVDビデオ(リージョン2、ALL) | ・DVD-R/-RW | ・CD-G |
| ・CD-R/-RW | ・CDビデオ | ・音楽用CD |

■再生できないディスク (大きな雑音が発生したり故障の原因となりますので再生しないでください)

- | | | |
|-------------------|---------------|--------------|
| ・上記リージョン以外のDVDビデオ | ・DVD-ROM/-RAM | ・CD規格外の音楽用CD |
| ・DVDオーディオ | ・スーパーオーディオCD | ・CD-I |
| ・CD-ROM など | | |

■使用環境について

- ・本機は周囲温度が5~35℃の場所でお使いください。
- ・本機を気温が低い場所から気温が高い場所に移動したり、湿度が高い場所に移動すると結露が生じて正常に動作しないことがあります。このようなときは、本機の電源プラグを電源コンセントに挿さない状態で約1~2時間放置し、乾燥させてからお使いください。

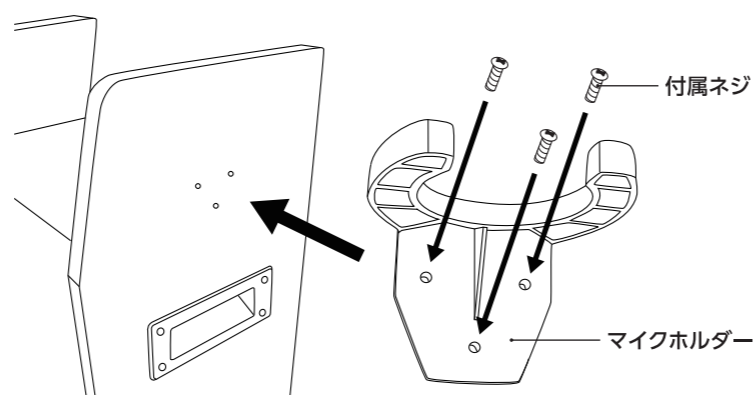
■著作権について

- ・ディスクを無断で複製、放送、上映、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- ・あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。
- ・本機は、日本とアメリカ合衆国特許権、知的所有権上保障された著作権保護技術を搭載しています。一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用可能です。改造または分解は禁止されています。

設置のしかた

最初にプレーヤーとスピーカーの各ユニットと付属品を梱包箱から取り出して設置の準備をします。マイクホルダーの取り付けにはプラスドライバー(#2)が必要です。ご準備ください。

1. 付属のマイクホルダーをスピーカーユニット側面のネジ穴3個に合わせて、プラスドライバーを用いて付属のネジで取り付けます。(左右各1個)

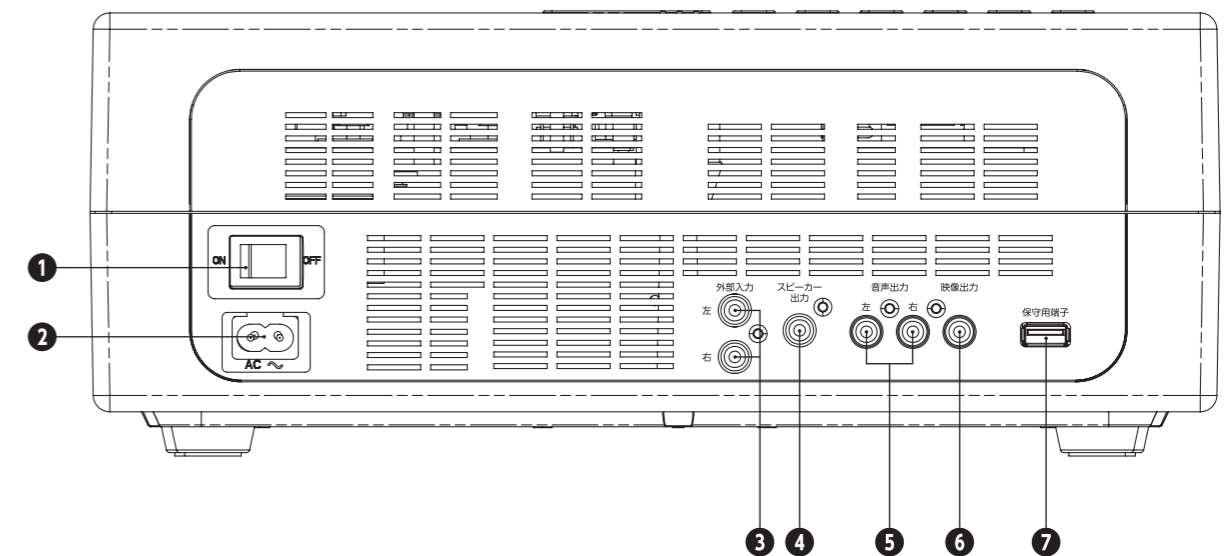


設置のしかた (つづき)

2. プレーヤーユニットの前後を手で持ち、スピーカーユニットの天面の穴にプレーヤーユニットの脚の位置を合わせて載せます。
3. スピーカーユニットの信号入力ケーブルの端子(黒色)をプレーヤーユニットのスピーカー出力端子(黒色)に接続します。
4. 付属の映像接続ケーブルの端子(黄色)をプレーヤーユニットの映像出力端子(黄色)に接続し、もう一方の端子をテレビやプロジェクターなど、ディスクの映像を表示する機器のビデオ映像入力RCAピンジャック端子(黄色)に接続します。
5. 付属の電源コードの接続端子をプレーヤーユニットの電源接続端子に接続します。
6. リモートコントローラーの電池蓋を下側にスライドして開け、電池ボックスに表示されている+、-表示の極性に合わせて付属の単4マンガン乾電池2本を装着し、電池蓋を閉めます。付属の乾電池は動作確認用ですので、早めに単4アルカリ乾電池に交換してください。
7. 購入時にはディスクのターンテーブルにピックアップ輸送保護シートが取り付けられています。お使いになる前には必ずピックアップ輸送保護シートの外周を持ってはずしてください。故障の原因となりますので、ピックアップに指が触れないように注意してください。
8. 電源ケーブルの電源プラグを電源コンセントに接続します。

各部の名称

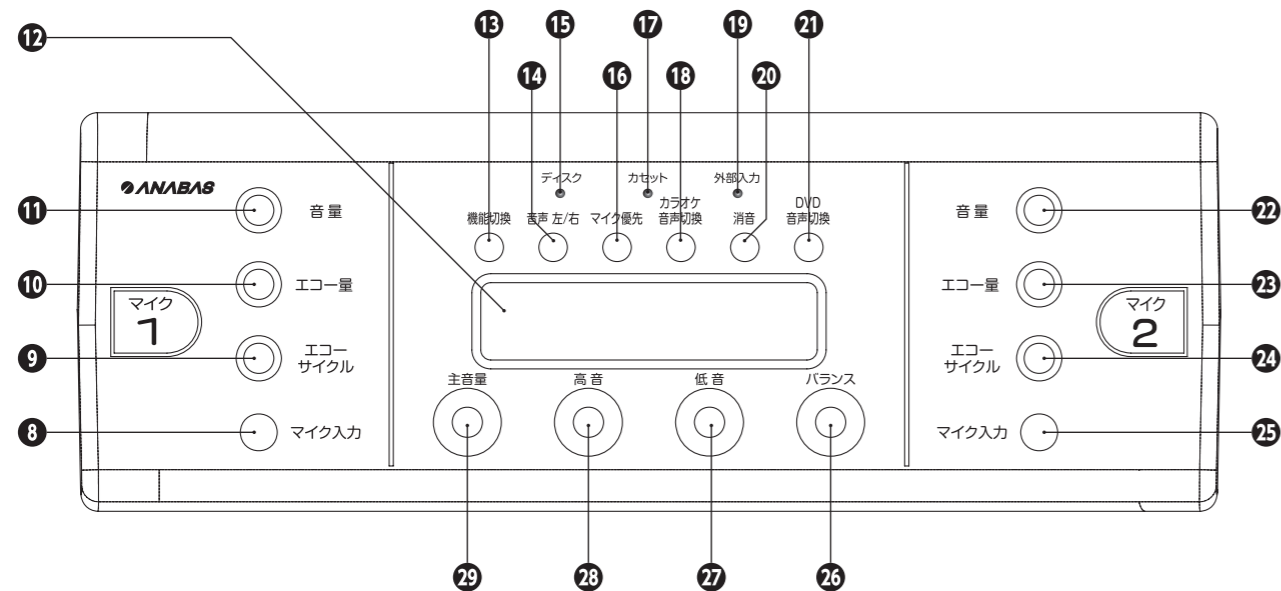
■プレーヤーユニット後パネル



- | | |
|--|--------------------------------------|
| ① 主電源スイッチ(オン・スタンバイ/オフ)
電源オフの状態でも電源から完全には遮断されませんので、使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。 | ④ スピーカー出力端子(黒色) |
| ② 電源コード接続端子(極性なし) | ⑤ ディスク音声出力端子(左(白)/右(赤)) |
| ③ 音声外部入力端子(左(白)/右(赤)) | ⑥ ディスク映像出力端子(黄色) |
| | ⑦ 保守用端子
故障の原因となりますので何も接続しないでください。 |

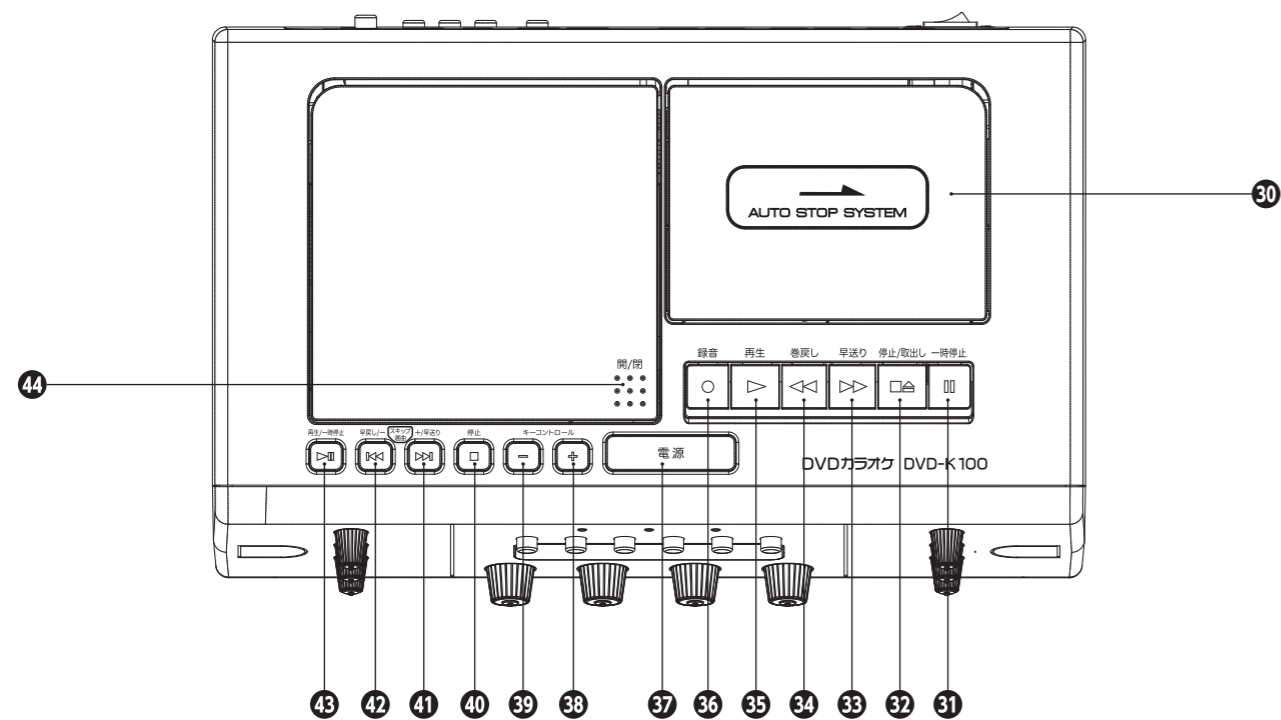
各部の名称 (つづき)

■プレーヤーユニット後パネル



- 8 25 マイク入力端子
- 9 24 エコーサイクル調整つまみ
- 10 23 エコー量調整つまみ
- 11 22 マイク音量調整つまみ
- 12 表示窓/リモコン受光部/スタンバイライト
- 13 機能切り換えボタン
- 14 音声左/右切り換えボタン
- 15 17 19 機能切り換え表示ライト
- 16 マイク優先ボタン
- 18 カラオケ音声切り換えボタン
- 20 消音ボタン
- 21 DVD音声切り換えボタン
- 26 音声左/右バランス調整つまみ
- 27 低音調整つまみ
- 28 高音調整つまみ
- 29 主音量調整つまみ

■プレーヤーユニット上パネル



●電源オン/スタンバイボタン(電源) (約1秒半長押し)

後パネルの主電源スイッチをオン・スタンバイにしないと電源が入りません。

●カセットテープデッキ操作部

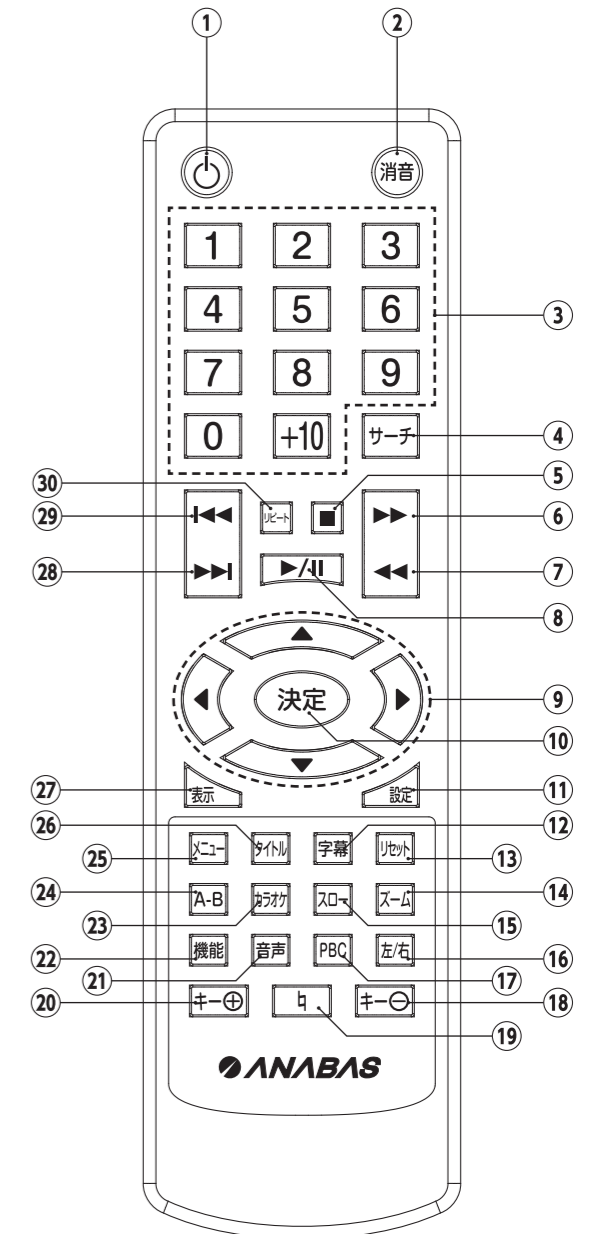
- 30 カセットドア
- 31 テープ再生一時停止ボタン(II)
- 32 テープ停止/ドア開閉ボタン(■/▲)
- 33 テープ早送りボタン(▶▶)
- 34 テープ巻き戻しボタン(◀◀)
- 35 テープ再生ボタン(▶)
- 36 テープ録音ボタン(●)

●ディスクプレーヤー操作部

- 38 キーコントロール(音程調整)+ボタン(+)
- 39 キーコントロール(音程調整)-ボタン(-)
- 40 ディスク再生停止ボタン(■)
- 41 ディスク再生スキップ/早送りボタン(▶▶)
- 42 ディスク再生スキップ/早戻しボタン(◀◀)
- 43 ディスク再生/再生一時停止ボタン(▶/II)
- 44 ディスクドア開閉操作位置(開/閉)

■リモートコントローラー(リモコン)

- ① 電源オン/スタンバイボタン(⏻)
- ② 消音ボタン(消音)
- ③ 数字キー(1~9、0、+10)
- ④ 時間検索ボタン(サーチ)
- ⑤ ディスク再生停止ボタン(■)
- ⑥ ディスク再生早送りボタン(▶▶)
- ⑦ ディスク再生早戻しボタン(◀◀)
- ⑧ ディスク再生/再生一時停止ボタン(▶/II)
- ⑨ カーソルボタン(◀/▲/▶/▼)
- ⑩ 決定ボタン(決定)
- ⑪ 設定切り換えボタン(設定)
- ⑫ 字幕切り換えボタン(字幕)
- ⑬ リセットボタン(リセット)
- ⑭ 画面ズームボタン(ズーム)
- ⑮ スロー再生ボタン(スロー)
- ⑯ 音声左/右切り換えボタン(左/右)
- ⑰ プレーバックコントロールオン/オフボタン(PBC)
- ⑱ キーコントロール(音程調整)-ボタン(キー-)
- ⑲ キーコントロール(音程調整リセット)ボタン(Ⓚ)
- ⑲ キーコントロール(音程調整)+ボタン(キー+)
- ⑲ DVD音声切り換えボタン(音声)
- ⑲ 機能切り換えボタン(機能)
- ⑲ カラオケ音声切り換えボタン(カラオケ)
- ⑲ A-Bリピートボタン(A-B)
- ⑲ メニューボタン(メニュー)
- ⑲ サブタイトルボタン(タイトル)
- ⑲ 表示切り換えボタン(表示)
- ⑲ ディスク再生スキップ送りボタン(▶▶)
- ⑲ ディスク再生スキップ戻しボタン(◀◀)
- ⑲ リピート再生ボタン(リピート)



カラオケの使いかた

■マイク(別売)を接続する

本機にはマイク(別売)を2本接続できます。
マイク(別売)のプラグ(φ6.3mm標準プラグ)をプレーヤーユニット前パネルの左右にあるマイク入力端子1/2に接続します。

■電源を入れる

- プレーヤーユニット後パネルの主電源スイッチをオン・スタンバイにします。
表示窓のスタンバイライトが赤く点灯します。
- プレーヤーユニット上パネルの「電源オン/スタンバイ(電源)」ボタン、または、リモートコントローラーの「電源オン/スタンバイ(⏻)」ボタンを押して本体の電源を入れます。
前パネルの表示窓に「HI」が数秒表示され、選択されている機能の表示ライトが赤く点灯します。

■機能の選択と楽曲の再生について

本体の「機能切り換え(機能切換)」ボタンまたはリモートコントローラーの「機能切り換え(機能)」ボタンを押して再生する音源(ディスク、テープまたは外部入力)を選択します。
選択した機能の表示ライトが赤く点灯します。

- テープを選択したときは12頁の「カセットテープデッキの使いかた」を参照して、カセットテープを再生してください。
- 外部入力を選択したときは外部入力端子に接続した機器で楽曲を再生してください。

■ディスクを再生する

ビデオディスクを再生するときは本機の映像ケーブルを接続した映像機器の電源を入れ、映像接続ケーブルを接続した入力に切り換えてください。

- プレーヤーユニット上パネルの「ディスクドア開閉操作位置(開/閉)」を押してディスクドアを開けます。
- 再生するディスクのレーベル面を上側に向けてディスクの中心をターンテーブルに合わせ、チャッキング部分がカチッと音がするまでディスクの中心部を押して装着します。
- プレーヤーユニット上パネルのディスクドアを下に押し下げてディスクドアを閉めると、ディスクが回転して記録情報を読み取り、映像画面にメニューを表示します。
CDを装着したときは、記録情報を読み取った後、自動的に1曲目の再生を開始します。(プレーバックコントロール機能を有効としたビデオCDを除く)
- メニューの中からリモートコントローラーの「カーソル(◀/▲/▶/▼)」ボタンを押して曲を選択し、「決定」ボタンを押すと再生を開始します。リモートコントローラーの数字キーで再生する曲番を直接入力しても再生を開始します。(20曲目を再生する場合は+10、+10、0と3回押してください。)
ディスクによってはメニュー表示状態では数字キーを受け付けられないものがありますので、このようなときはカーソルを使用するか、あるいは、ディスクの再生を開始した後で数字キーを押して曲を選択してください。
- プレーヤーユニット前パネルの主音量つまみを調整し、再生する音の大きさを調節します。
- 楽曲を早戻しする/早送りするときはリモートコントローラーの◀◀/▶▶ ボタンを押してください。
ボタンを押す毎に速度が変わります。(ディスクの種類によって速度の変化が異なります。)
- 楽曲の頭に戻る、あるいは次の曲を選曲するときはプレーヤーユニット上パネル、またはリモートコントローラーの◀◀/▶▶ ボタンを押してください。

■音量や音質を調節する

調節内容	調整つまみ	回転方向	効果
音量	主音量	時計まわり	再生音量が大きくなります。
		反時計まわり	再生音量が小さくなります。
高域	高域	時計まわり	高域が強くなります。
		反時計まわり	高域が弱くなります。
低域	低域	時計まわり	低域が強くなります。
		反時計まわり	低域が弱くなります。
ステレオ音声の左右のバランス	バランス	時計まわり	右の音が大きくなります。
		反時計まわり	左の音が大きくなります。
マイク音量	マイク音量	時計まわり	マイクの音量が大きくなります
		反時計まわり	マイクの音量が小さくなります。
マイクエコー量	マイクエコー量	時計まわり	マイクのエコー効果が増えます。
		反時計まわり	マイクのエコー効果が少なくなります。
マイクエコー間隔	マイクエコーサイクル	時計まわり	マイクのエコー間隔が短くなります。
		反時計まわり	マイクのエコー間隔が長くなります。

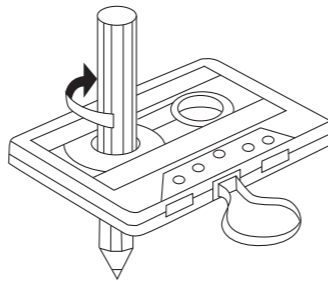
■カラオケ、その他の機能を使う

機能	操作ボタン/つまみ		操作方法
	本体	リモコン	
ボーカル音声を消す マルチ音声DVD 音声5ch出力	カラオケ 音声切換	カラオケ	再生するディスクにより音声の消しかたが異なります。 ボタンを押す毎に以下の順序で音声切り換わります。 音声切→音声1(メイン)→音声2(デュエット)→音声1+2 ディスクを装着したときは音声1+2に設定されます。
ステレオDVD ビデオCD、CD-G	音声左/右 バランス	左/右 なし	ボタンを押すと音声左→右→モノ→ステレオと切り換わります。 つまみをまわした方向の音量が大きくなります。
音声が消えない場合	マイク優先	なし	ボタンを押してマイクの音が入るとマイクの音が優先されます。
メニュー(楽曲リスト)を表示する	なし	メニュー タイトル	ボタンを押します。ボタンを押してからメニューが表示されるまで数秒かかります。
曲を繰り返す	なし	リピート	ボタンを押す毎に以下の順序で切り換わります。 DVD: チャプター→タイトル→オール→取り消し CD: トラック→オール→取り消し
任意の区間を繰り返す	なし	A-B	ボタンを押すと繰り返し開始地点Aを記憶し、もう一度押すと繰り返し終了地点Bを記憶してA-B区間を繰り返し演奏します。もう一度ボタンを押すと解除します。
ビデオCDのメニュー画面を表示する	なし	PBC	ボタンを押すとプレーバックコントロール機能付きビデオCD(ビデオCD2.0)のメニュー画面を表示します。
音程を高くする	キーコントロール⊕	キー⊕	1回押すごとに楽曲の音程が約半音高くなります。 最大で4段階変化します。
音程を低くする	キーコントロール⊖	キー⊖	1回押すごとに楽曲の音程が約半音低くなります。 最大で4段階変化します。
音程を元に戻す	なし	Ⓚ	ボタンを押すと楽曲の音程が元に戻ります。
音を消す	消音	消音	ボタンを押すと音が消え、もう一度押すと解除します。
音声を切り換える	DVD音声	音声	ボタンを押すと音声言語を切り換えます。(対応DVDのみ)
字幕言語を切り換える	なし	字幕	ボタンを押すと字幕言語を切り換えます。(対応DVDのみ)
スロー再生する	なし	スロー	ボタンを押す毎に再生速度を遅くします。(4段階)
画面をズームする	なし	ズーム	ボタンを押す毎に画面のズームを変化します。 (拡大3段階→縮小3段階)
再生情報を表示する	なし	表示	ボタンを押すとディスクの再生情報が表示されます。
楽曲/場面を検索する	なし	サーチ	ボタンを押した後数字キーで曲番/時間(映画)を入力します。

カセットテープデッキの使いかた

■使用するカセットテープについて

- ・録音・再生時間が90分以下のノーマルテープを使用してください。
- ・故障の原因になりますので、しわがある、汚れている、折り目が付いている、べとついているテープは使用しないでください。
- テープにたるみがあるときは、使用する前に鉛筆などでたるみを取ってください。



■ボタン操作について

カセットテープデッキの操作はカセットドアの手前にある操作ボタンで行います。「テープ停止/ドア開閉(■/▲)」ボタンを除き、ボタンを操作するときはボタンがロックするまで下に押し下げてください。「テープ停止/ドア開閉(■/▲)」ボタンは下に押し下げてもロックしません。

■カセットテープの入れかた

1. 「テープ停止/ドア開閉(■/▲)」ボタンを押して、カセットドアを開けます。
2. カセットドアのカセットホルダーに、再生したい面を上、テープが露出している方を手前に向けてカセットテープを入れ、カセットドアがロックするまで押しつけて閉めます。

■カセットテープデッキの操作

動作	操作方法
テープを再生する	1. 本体の機能切り換え(機能切換)ボタンまたはリモートコントローラーの「機能切り換えボタン(機能)」を押してテープを選択します。 2. 「テープ再生(▶)」ボタンを押します。 再生が完了すると自動的に停止しボタンが元の位置に戻ります。
動作を停止する	「テープ停止/ドア開閉(■/▲)」ボタンを押します。 動作が停止しボタンが元の位置に戻ります。
再生を一時停止する	テープを再生中に「テープ再生一時停止(⏸)」ボタンを押します。
一時停止を解除する	テープの一時停止中に「テープ再生一時停止(⏸)」ボタンをもう一度押します。 ボタンのロックが解除されテープの再生を再開します。
テープを早送りする	「テープ早送り(▶▶)」ボタンを押します。テープが最後まで巻き取られてもボタンが自動では戻りませんので「テープ停止/ドア開閉(■/▲)」を押して解除してください。
テープを巻き戻す	「テープ巻き戻し(◀◀)」ボタンを押します。テープが最初まで巻き取られてもボタンが自動では戻りませんので「テープ停止/ドア開閉(■/▲)」を押して解除してください。
テープに録音する	1. 本体の機能切り換え(機能切換)ボタンまたはリモートコントローラーの「機能切り換えボタン(機能)」を押して録音する音源(ディスクまたは外部入力)を選択します。 2. 「テープ録音(●)」ボタンと「テープ再生(▶)」ボタンを同時に押すと録音を開始します。「テープ録音(●)」ボタンを押すと「テープ再生(▶)」ボタンも一緒に動きます。 3. 録音する音源(ディスクまたは外部入力)の楽曲を再生します。 ※ご注意：ディスクの楽曲の録音レベルは主音量の位置の影響を受けません。 マイクの録音レベルはマイク音量によって変わりますので、マイク音量を上げすぎるとマイクの音がひずんで録音されます。 このようなときはマイク音量を下げてください。

■ヘッド部のお手入れ

カセットデッキを長い間お使いになると、ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーなどテープと接する部分が汚れ、故障の原因となることがあります。
ときどき市販のカセットクリーニングテープなどでヘッド部のクリーニングを行ってください。

初期設定について

DVDの初期設定は工場出荷時にあらかじめ以下の状態に設定されています。
初期設定は変更可能な設定のみリモートコントローラーを使用して変更することができます。
設定は電源を切っても保持されます。
設定を工場出荷状態に戻すにはリモートコントローラーの「リセット」ボタンを押してください。
設定画面の「その他」の項目の「初期化」でリセットを選択いただいても同じ操作となります。

見出し	設定項目	初期設定	変更可能な設定	
一般設定	画面モード	ワイド	4:3パンスキャン	4:3レターボックス
	アングルマーク	オン	オフ	
	画面表示言語	日本語	English(英語)	
	スクリーンセーバー	オン	オフ	
	ラストメモリー	オフ	オン	
音声設定	なし(工場出荷時に適切な状態に設定されています)			
映像設定	なし(工場出荷時に適切な状態に設定されています)			
その他	テレビ信号方式	NTSC	PAL	自動
	音声設定	日本語	英語	
	字幕言語	日本語	英語	
	メニュー言語	日本語	英語	
	初期化	リセット		

■設定変更のしかた

1. 設定メニューを表示する
リモートコントローラーの「設定」ボタンを押すと、映像出力画面に設定メニューが表示されます。
このとき見出しは一般設定が選択されています。(選択している見出しは赤く表示されます。)
2. 設定項目を選択する
設定項目を選択するにはリモートコントローラーのカーソルの「▼」ボタンを押します。
このとき選択した設定項目は緑色で表示され、現在の設定は茶色で表示されます。
3. 設定を変更する
現在の設定から変更したい設定をリモートコントローラーのカーソルの「▼」または「▲」ボタンを押して選択すると、選択した設定が緑色で表示されますので、この状態でリモートコントローラーの「決定」ボタンを押します。(設定が完了すると緑色から茶色に変わります。)
4. 前の選択項目に戻る
リモートコントローラーのカーソルの「◀」ボタンを押すと1つ前の項目に戻ります。
5. 設定メニューを解除する
設定メニューを表示しているときにリモートコントローラーの「設定」ボタンを押すと解除されます。

■設定項目の説明

- ・アングルマーク：カメラアングル画像を記録したDVDで表示されるマーク。
(本機でアングル変更はできません。)
- ・スクリーンセーバー：一定時間操作されないときに映像機器を保護するための画面を表示します。
- ・ラストメモリー(レジューム)：「オン」に設定すると、再生したときにディスクを前回停止した位置から再生します。

おもな仕様

共通		ディスクプレーヤー部	
電源	AC100V～ 50/60Hz	再生可能ディスク	本書6頁に記載
消費電力	15W(スタンバイ時:約0.7W)	映像出力端子	RCAピンジャック(黄色)x1
実用最大出力	30W	音声出力端子(ステレオ)	RCAピンジャック(白色/赤色)x1
スピーカー	25cmウーハー(4Ω) 7.5cmツイーター(4Ω)	カセットテープデッキ部	
マイク入力端子(モノラル)	φ6.3mm標準ジャックx2 適合インピーダンス1kΩ以下(600Ω推奨)	トラック方式	4トラック2チャンネル
外部入力端子(ステレオ)	RCAピンジャック(白色/赤色)x1	テープ速度	4.75cm/s
スピーカー出力端子(モノラル)	RCAピンジャック(黒色)x1	ワウ・フラッター	0.35%(wrms)以下
付属品	本書6頁に記載	使用可能テープ	ノーマルテープ専用
本体寸法	372(幅)×623(高さ)×225(奥行)mm	リモートコントローラー	
本体質量	約12kg	電源	DC3V=== 単4乾電池2本使用
		通信方式	赤外線パルス方式
		寸法	49(幅)×178(高さ)×27(奥行)mm
		質量	約80g(乾電池を除く)

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
- この商品は、日本国内用に設計・販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
電源が入らない	●電源コードのコネクターとプラグが十分に挿入されていない。 ●主電源スイッチを入れていない。	●電源コードのコネクターとプラグを奥まで挿し込む。 ●主電源スイッチを入れる。
音が出ない	●スピーカーケーブルを接続していない。 ●楽曲を再生する機能に切り換えていない。	●スピーカーケーブルを接続する。 ●楽曲を再生する機能に切り換える。
映像が出ない	●映像ケーブルを接続していない。 ●映像機器で、映像接続ケーブルを接続した端子と違う入力を選択している。	●映像ケーブルを接続する。 ●映像機器で、映像接続ケーブルを接続した端子の入力を選択する。
ディスクを読まない	●ディスクが入っていない。 ●ディスクが裏返しに装着されている。 ●ディスクの読み込みに十数秒かかる。 ●ディスクが汚れていたり、傷がついている。	●ディスクを入れる。 ●ディスクをレーベルの印刷がある側を上にしてしっかり装着する。 ●ディスクの汚れを取る、又は、ディスクを交換する。
ディスクの読み込み時間が長い	●ディスクの読み込みに十数秒かかる。 ●ディスクが汚れていたり、傷がついている。	●ディスクの汚れを取る、又は、ディスクを交換する。
ディスクの音がとび	●ディスクに大きな傷やそりがある。 ●振動する場所に設置している。	●ディスクを交換する。 ●振動のない場所に設置する。
雑音が多い	●電源雑音の影響を受けている。 ●モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている。 ●マイクコードに雑音が入っている。	●電源プラグの刃向きを差し換える。 ●本機を雑音源から離す。 ●音声の信号線がGND線でシールドされているマイクコードを使用する。
マイクの音が出ない	●マイク本体のスイッチが「OFF」になっている。 ●マイクの接続が外れている。 ●マイク音量つまみが最小になっている。	●マイク本体のスイッチが「ON」にする。 ●マイクを正しく接続する。 ●マイク音量つまみを適切な位置に調節する。
カラオケにならない ボーカル音声が消えない	●マルチDVDカラオケディスクを再生しているときに音声が出るモード、または、2ch出力を選択している。 ●カラオケ仕様ではないディスクを再生している。 ●音声が入った音源を再生している。	●カラオケ音声の切り換えボタンで希望する音声(「音声切」「音声1」「音声2」)を選択する。 ●DVD音声切り換えボタンで5chを選択する。 ●マイク優先ボタンを押すとマイクの音量が大きくなります。

故障かな?と思ったら (つづき)ら

症状	原因	処置
カセットテープに録音できない	●カセットテープの誤消去防止爪が折れている。	●誤消去防止爪が折れていないカセットテープを使用する。 ●消去してもよいテープのときは、誤消去防止爪の部分にテープを貼る。
カセットテープに録音したマイクの音がひずむ	●マイク音量が大きすぎる。	●マイク音量を下げる。
ハウリングが起きる キーンという音がする	●マイク音量が大きすぎる。 ●マイクをスピーカに向けている。 ●マイクがスピーカーに近い。	●マイク音量を下げる。 ●マイクをスピーカーに向けていない。 ●マイクをスピーカーから離す。
一部の操作ボタンが きかない	●ディスクにより一部のボタン操作を受け付けられないものがあります。	

保証とアフターサービス

保証書


- この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証書欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年です。詳細は保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の性能を維持するために必要な部品です。
- 消耗部品のご注文などについては販売店または弊社にご相談ください。


アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店または弊社にお問合わせください。

メールでのお問い合わせ	電話でのお問合わせ	受付時間
E-mail: taichitky@anabas.co.jp ホームページ: http://www.anabas.co.jp	 0120-027-329	月～金 午前10時～午後5時30分 (土・日・祝祭日・年末年始を除く)

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 太知ホールディングスは、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを受託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

	長年ご使用の機器の点検をぜひ	故障や事故防止のため、使用中を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
	このような症状はありませんか	
	●ACアダプターのコードが傷んでいる ●煙が出る ●変な臭いがする ●その他の異常や故障がある	

※本機を廃棄される場合は、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

保証期間中は

お買い上げの販売店または弊社にご依頼ください。保証書の記載内容により修理致します。保証期間中であっても有料となる場合がございます。

保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修料金の仕組み

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。